

ヤングケアラー

サポーター養成講座

ヤングケアラーを支えるために、私たちにできることは何だろう。
サポーター養成講座では、存在に気づき、つなぎ、見守るために
正しい知識を学びます。

参加無料

令和 7 年

① 1 月 29 日(水) ② 2 月 5 日(水) ③ 2 月 20 日(木)

15 時～17 時(最終日は 15 時～18 時)

内 容 ▶元ヤングケアラー体験談。子どもの人権。ヤングケアラーの実態と課題。
ヤングケアラーの支援と連携の流れを知る。事例を学ぶ。
支援における留意点や気づくポイント等

講 師 ▶

フリーアナウンサー・元ヤングケアラー
町亞聖氏



一般社団法人家族・保育デザイン研究所所長
汐見和恵氏



品川区ヤングケアラーコーディネーター
小林鮎奈氏



会 場 ▶品川総合福祉センター 6 階会議室 (品川区八潮5-1-1)

対 象 ▶区民で興味ある方どなたでも (定員 20 名) **全 3 回参加できる方**

申込み▶1 月 23 日(木)締切 申込フォーム・電話にて申込みください。



申込みフォーム

問合せ▶〒140-0003 品川区八潮5-1-1 品川総合福祉センター地域福祉課宛て
☎ 03-3790-4839 ✉ chifuku.kouza@gmail.com

講師プロフィール

町 亞聖 フリーアナウンサー・元ヤングケアラー



小学生の頃からアナウンサーに憧れ1995年に日本テレビにアナウンサーとして入社。その後、活躍の場を報道局に移し、報道キャスター、厚生労働省担当記者としてがん医療、医療事故、難病などの医療問題や介護問題などを取材。“生涯現役アナウンサー”でいるために2011年にフリーに転身。脳障害のため車椅子の生活を送っていた母と過ごした10年の日々、そして母と父をがんで亡くした経験をまとめた著書「十年介護」（小学館文庫）、2024年には、全てのケアラーのための“読むピアサポート”新刊「受援力」（法研）を出版。医療と介護を生涯のテーマに取材、啓発活動を続ける。念願だった東京2020パラリンピックを取材。元ヤングケアラー。

（町 亞聖公式ブログ→<http://ameblo.jp/machi-asei/>）

汐見和恵 一般社団法人家族・保育デザイン研究所所長



専門は家族社会学、社会福祉学。家族関係や子育て支援・保護者支援、保育園・幼稚園の子どもの育ちと保育者の関わりなど、幅広く子育てと家族に関する研究をしており、保育アドバイザーとして主に保育者を対象とする講演・研修を行っている。近年は韓国の保育園・幼稚園との関わりも多くなり、韓国各地の保育園・幼稚園の視察を実施し、2023年には韓国において「日本における子どもの主体を大事にした保育」などの講演を2度行い、現地の新聞にも掲載され話題となり、2024年も活動の輪が広がっている。子育て支援に関する著書多数。

2024年には『子ども家庭福祉』『保育士完全合格テキスト』（翔泳社）を出版。

小林鮎奈 品川区ヤングケアラーコーディネーター



8歳の頃に母が心の病気を患い、情緒的ケアを中心に一部の家事や社会資源の調整などをしてきた。母のことを相談できる人を探しながら、自分も知識をつけるため看護の専門学校へ進学。外科病棟を経て精神科病院で勤務し、ダイアログとトラウマケアを学んできた。精神疾患の親をもつ子どもの立場の家族会を仲間と共に立ち上げ運営している。

看護師 公認心理師。

「精神疾患のある親をもつ子どもの会こどもぴあ」を2018年に設立。こどもぴあ副代表。こどもぴあ著書「精神障害のある親に育てられた子どもの語り」、「静かなる変革者たち」を出版。

個人情報の取り扱いについて：

ご提供いただいた個人情報は、ヤングケアラーサポーター養成講座の受付・回答・管理のために利用いたします。

社会福祉法人 品川総合福祉センターでは…

児童・高齢・障害の各分野で、在宅支援から施設支援まで、支援の必要な区民の方のサポートを行っています。

また、地域のニーズに合わせ地域貢献や福祉啓発、福祉教育に取り組んでいます。



法人 HP